

地域リーダー育成プロジェクト第6回学び合いの場 開催のご報告



- ◇日 時：平成29年12月15日(金)午後5時00分～午後6時30分
- ◇会 場：榛原庁舎4階会議室
- ◇参加者：57人(中学生1人、高校生24人、大人21人、視察者等11人)



8月に始まった学び合いの場も、今回が最後となりました。初対面の人との対話や今後の展開に不安や疑問を感じた人も少なくなかったと思います。6回の学び合いの場を経て、地域への思いや具体的なプロジェクトが深まってきたように感じています。皆さんの出会いや過ごした時間を次に繋げていきたいですね！

★第6回学び合いの場は、こんな会でした！

- ・**前回**：「プロジェクトとは何か」を学び、自分のことも知った上で仲間と共にプロジェクトをつくった。
- ・**目的**：①プロジェクトを深めまとめること。
②最後の学び合いの場なので、「自分にとっての学び」を振り返ること。
- ・**進行**：4人の高校生が、メインファシリテーターとグラフィックハーベスティングを務めた。

【メインファシリ：山下さん(榛原1年)、齋藤さん(榛原3年)、中嶋さん(榛原2年)／グラフィック：大石さん(相良2年)】

1 オープニング

- ・今日は、プロジェクトを深めていきたい。
- ・これまでの学び合いの場で大切にしてきたように、自分にとって実りある時間を過ごすために「二本足の自由」を意識し、3つの中から過ごし方を選んでほしい。
➡①同じプロジェクトの中で話し合いを進める ②他のプロジェクトを選んだ人と話し合いを進める ③一人で考える



【メインファシリ：山下さん】



2 深めたいプロジェクトを選ぼう

今までの対話を経て、前回挙がった15のプロジェクトから興味あるものや深めたいプロジェクトをそれぞれ選び、12プロジェクトに分かれました。

3 プロジェクトを深める対話を行い、まとめよう

同じプロジェクトの中で話し合いを進める、他のプロジェクトを選んだ人と話し合いを進める、一人で考える…各々にとって有意義な過ごし方でプロジェクトを深め、仲間とプロジェクトをまとめました。



【メインファシリ：齋藤さん】



4 お互いのプロジェクトを知り合おう (全体発表)

<p>② 学生と地域のつながり深める</p>	<p>② 榛高の文化祭でCLIPの部屋、グラフィック講座、地域づくり講座をやりたい。学生と地域をつなげる。</p>	<p>③ 外国人と高校生の交流の場を設ける</p>	<p>③年に3回、高校生と色々な国の人がお互いの地域について紹介し合い交流する機会をつくりたい。</p>	<p>④ 英語しか使えないコンビニをつくる。空港周辺を活かし観光資源にしたい。</p>	<p>④ 英語しか使えないコンビニをつくる。空港周辺を活かし観光資源にしたい。</p>
<p>⑤ 地域医療について理解を深め、お茶の専門家を目指す</p>	<p>⑤ 中学～大学生が地域医療を知る、興味を持つ、学ぶ機会をつくりたい。最終的には就職したい職業に。</p>	<p>⑥ 地域の魅力を発信する</p>	<p>⑥ 埋もれている牧之原の魅力を見つけ伝えたい。お茶の機材等にも目を向けたりする。定住へ繋げたい。</p>	<p>⑦ 茶畑の茶摘み体験を自ら11月県外からの視察生20名に体験</p>	<p>⑦ 海外の旅行代理店にアグリツーリズムを売り込む。My tea farm(俺の茶畑)を通じて定住に繋げたい。</p>
<p>⑧ 海外に旅行する外国人を誘って、お茶の魅力を伝える</p>	<p>⑧ 海外の「マニア」がターゲット。牧之原市の色々なマップを作成し外国の皆さんにPRしたい。</p>	<p>⑨ 市民ファシリテーター(CLIP)の仕組みがわかる方法を考える</p>	<p>⑨ 高校生も含むグループとして独立し財源確保。養成講座の開催、対話の場への出張、イベント開催。</p>	<p>⑩ 初めて会う人、お茶畑に誘って、お茶の魅力を伝える</p>	<p>⑩ 事前に天気予報をチェックし天気の話から始める。相手に会う前に下準備が必要。</p>



⑫ 生徒会主体で全生徒が学校のルールを見直すようにしたい。提案する機会がほしい!!



⑬ スマートスピーカーを発明し敬老の日にプレゼント。地域情報から悩み相談、ヘルプシステムも搭載。



⑭ 休日に高校で多世代の人たちと子ども達とで活動したい。ママと高校生の交流も。

5 学び合いの場に参加してみての自分の気持ちを振り返ろう

学び合いの場は今回で最後。今まで参加してみての自分の気持ちや今後の抱負などをA4用紙に書きました。皆さんの言葉をできる限りご紹介させていただきます。



【メインファシリ：中嶋さん】

●高校生の皆さん

- 色々な意見を聞いて自分の考えの幅を広くしていきたい
- 理想を現実に!!
- 様々な視点や見方を持った方々と話せたことで自分の意見を深めることができた
- 会話のキャッチボールでいいグローブを持てるように!
- 共通の話題を見つけてみんなと話す
- 地域についていろいろなことを考えるようになった。
- 天気を使ってみんなと話す
- 人に意見を伝えることは難しいけど、まず行ってみることが大事!!
- 自分の意見に自信を持つ
- もっとたくさんの地域に地域リーダーを!!
- 何かしないと始まらないから小さいことでも何かやる!
- 自分の町をもっとよく知る!!
- 自分の意見をもちしっかり主張する!相手の意見にも耳を傾けそれに対しても意見をもつ!
- もっと深く地域について知ってできることから少しずつ実現させたい。
- もっと具体的に考えるだけでなく行動、実現していきたい。
- 自分の夢につながり、また、思いも強くなったので参加して良かったと思う。
- とりあえず自分の意見を誰かに伝えてみる!→アバウトな考えから具体的なアイデアへ→実行



★大人の皆さん

- ★ 職場だけでなく色々な人と対話をする。新たな気づき!
- ★ 「なんで?」とか一歩ふみこむ
- ★ 地域の魅力を自分で気づいていないところもあったが、あることに気付かされた。良いものとなった
- ★ PDCA。マネジメントの視点を持つ。進める。
- ★ 輝く大人になる
- ★ 地域のいろいろな人ともっとコミュニケーションをとる!
- ★ 地域の「よさ」を知る
- ★ 頭をやわらかくする
- ★ 今日という日を大切に。スタートの一日に…
- ★ 牧之原市の魅力向上をする。高校生の熱い想いを受け止められる職員を目指す。
- ★ アイデア(気持ち)を持っている高校生と地域(団体など)をつなげていく場を持っていく!
- ★ 様々な場で「対話」を大事に。
- ★ 自分を開示。対話からうまれるよろこびを味わう
- ★ 地域に根付く若者を育てるためにアピール大事!!もっと病院としてアピールしてこ!!
- ★ 他の人の意見を理解する大切さ、対話の手法について学べた。色々な視点でものを見る大切さの再認識
- ★ 寄り添って声を聴く
- ★ アイデアは無限!!
- ★ 尊敬と信頼



6 牧原ゆりえさん(一般社団法人サステナビリティ・ダイアログ代表)から

～牧原さんは、1年間、「学び合いの場」の対話とアクションを一緒に考え過ごしてくれました～

- ・ みんなから出てきた話をみんなで話してきた。「みんなでつくる」とはこういうこと。
- ・ 何かを生み出す時には、自分の声に耳を澄ます静かな時間が大切。
- ・ OSTは「スペース(心)を開く」ということ。これからも、友達や身の回りの人が困っていたら「話を聞くよ」というように自分の心を開いて、色々な人と繋がり、支え合い、創って行ってほしい。



7 グラフィックによる振り返り～大石さん(相良高校2年)～

みんなでいつも通り楽しく話せたのが良かった。



今年度の「学び合いの場」にご参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

積み重ねた対話や出会い、見つけた思いを大切にしていきたいですね。ここで芽生えたプロジェクト、実現していきませんか?

2018年2月3、4日のコンファレンスでは、地域へ今年度の報告とプロジェクトのさらなる深掘りをします。お会いできたら嬉しいです☺